

# C-19 写真による成長期男女のからだの寸法追跡的一考察

十文字学園女短大 右松弥生 湘北短大 ○武藤治子  
千葉大教育 佐藤清子

目的 衣服設計における基礎的研究として、成長期男女の体型の年令的变化を把握するために、女児6名、男児1名につき、追跡的に身体計測ならびに写真撮影を行っているが、今回はそのうち女児2名、男児1名について検討を試みた。

方法 昭和43年(女児2名は小学校3学年から、男児1名は小学校4学年から追跡)から毎年1回、上記の調査を行い、右側面ならびに前面写真から、ウエストラインを基準として上半身と下半身とに分け、シルエットを角度でとらえ、成長による形態的变化の観察を試みた。カメラはリンフォフを用いた。

結果 1)女児2例の観察結果は次の通りである。2例とも、側面から見たシルエットについて、小学校3学年では、上半身の背面の角度が大きく、胸部前面の角度は負を示しているが、成長とともに背面の角度は減少傾向を、胸部前面の角度は0に近づく傾向を示す。即ち高学年にすなわち従い反身から次第に上体があき上ってくる様子が観察される。下半身の側面から見た腰部後面の角度は、高学年にすなわち従い減少する傾向が見られ、腹部の角度は増加の傾向がある。前面から見た腰部側面の角度は初潮到来後、増加し、胴がくびれてくることが観察される。また右肩部の角度については、2例とも成長による大きさを変化はみられない。2)小学校4学年より追跡した男児については1例ではあるが、特に下半身の側面ならびに前面よりみた腰部の角度の年令的变化に顕著な男女差がみられる。